

富士市立中央病院 病院だより

第 21 号

発行：平成 25 年 7 月 20 日

〒417-8567 富士市高島町50

電話：0545-52-1131 FAX：0545-51-7077

E-mail：byoin@div.city.fuji.shizuoka.jp

http://www.city.fuji.shizuoka.jp/~byoin/

お問合せ：病院経営課(内線2221・2222)

Fuji City General Hospital

新たな国民病、CKDをご存知ですか ～市民公開講座～

6月4日(火)、ロゼシアター小ホールにて市民公開講座を行いました。当院副院長兼腎内科部長の笠井医師が講師を務め、「慢性腎臓病と富士市CKDネットワーク」をテーマに講演し、200名を超える方にご聴講いただきました。講演内容の一部をご紹介します。

「慢性腎臓病と富士市CKDネットワーク」

CKD(慢性腎臓病)の定義は、①検査で腎臓に障害があることが明らかな状態(特にタンパク尿の存在が重要)、または、②腎臓の糸球体ろ過量が正常の60%未満の状態が3か月以上続くこととされており、CKDは今では万国共通の言葉(病名)になっています。

CKDは、国内患者が約1330万人と多く、透析に至るリスクだけでなく脳卒中や心筋梗塞などの心血管疾患を発症するリスクが高いなど健康への脅威となる一方で、治療が可能であることから、非常に注目されている疾患です。

CKDを予防するためには、過労を避け規則正しい生活を送り、暴飲暴食や喫煙をしないこと、高血圧や糖尿病などの生活習慣病がある方はきちんと治療することが大切です。また、CKDと診断されても血圧を下げ、タンパク尿を減らし、貧血を治すなど、適切な治療によって病気の進行を遅らせることができます。

今年から富士市の特定健診では糸球体ろ過量が報告されることになりました。健診を受けることがCKD対策の第一歩になりますので、積極的な受診をよろしくお願いします。



笠井副院長の講演の様子

～富士市CKDネットワークとは～

富士市CKDネットワークは、CKDの理解を深め適切な医療体制を整える事で、富士市における透析導入と心血管疾患発症の低減を図ることを目的として、医師会・専門病院・富士市によって平成25年に発足しました。

なお、災害時の透析患者のサポートを目的とした富士市透析防災ネットワークは平成22年に発足しています。



移転開設から30年目を迎えて ● ● ●

当院は昭和59年8月に現在の富士市高島町に「富士市立中央病院」として移転開設し、今年で30年目という節目を迎えることから、その間の当院のあゆみをご紹介します。

富士市立中央病院の誕生 ～移転開設～

移転開設前の富士市本市場にあった「総合病院市立富士中央病院」は、診療科目11科・使用許可病床数346床という規模で診療を行っておりました。しかしながら、病床数の絶対的不足等の課題から、昭和59年8月に「富士市立中央病院」として現在の場所に移転開設いたしました。診療科目18科・使用許可病床数520床と規模を拡大すると同時に、市内唯一の24時間2次救急の受け入れを開始し、現在に至るまで富士市の救急医療を担っております。



▲移転開設当時のエントランスホール

総合病院としての機能を拡大へ ～新館建設～

昭和63年7月には静岡県地域医療計画に基づき増床の許可を受け、新館の建設や本館の改修を行い、平成6年4月には使用許可病床数610床となりました。診療科の拡充については、平成5年には循環器科、平成9年には心臓血管外科、さらに平成15年には神経内科・歯科口腔外科を新設したことで診療科目は22科まで増え、総合病院としての機能を拡大してまいりました。



▲256スライスMDCT装置



▲女性専用の外来の様子

当院で完結する医療の実現を目指して ～現在～

近年では、平成21年5月に電子カルテシステムを導入し、迅速で的確な診断やチーム医療の推進を図っております。また、先進的な医療機器の整備のため、平成24年1月に256スライスMDCT装置を設置し、平成25年4月には3.0テスラMRI装置を導入するなど、より安全で正確な検査・診断を心がけております。

また、周産期医療体制の充実や女性専用の外来の開設などに伴い、平成23～24年度に病棟改修を行い、現在の使用許可病床数は520床となっております。

平成25年6月には院外処方へ移行をし、薬剤師による服薬指導などの病棟業務が増えることで、入院患者さんへより充実した医療が提供できる体制を整えました。

これからも、富士市立中央病院は地域の基幹病院として、日々市民の皆さまにより良い医療をやさしく安全に提供するため常に医療の向上に努め、当院で完結する医療の実現を目指します。

富士市立中央病院外来担当医表

平成25年7月1日現在

診療科	《部長名》	月	火	水	木	金	備 考
内 科 (代謝-一般内科)《藤井常宏》 (呼吸器内科)《木村哲夫》 (腎臓内科)《笠井健司》 (消化器内科)《鳥巢勇一》 (神経内科)《森田昌代》	初診	山城	比企	宇田川	瀧	中野	水曜の谷口医師は、午後予約のみ 《神経内科初診は完全紹介状制》 月曜の河野医師、金曜の作田医師は午後2時～4時
		勝俣	上田	五味	春原	金井	
		藤井	瀧	谷口	藤井	山城	
		比企		比企	比企	比企	
		木村	木村	木村	木村	渡辺	
		宇田川	笠井	高橋	宇田川	笠井	
		梶原	堀内	鳥巢	中野	鳥巢	
森田	森田	森田	森田				
河野				作田			
循環器科 (循環器内科)《三川秀文》 (心臓血管外科)《田中 圭》	初診	阪本	(交替制)		山崎	富永/阿部	金曜の奇数週は富永医師、偶数週は阿部医師 火曜の初診受付は、午前10時まで
		山崎	三川	三川	三川	三川	
					阿部	阪本	
田中							
小児科《瀬川孝昭》	初診	千葉	日馬	千葉	千葉	千葉	
		瀬川	瀬川	瀬川		瀬川	
		秋山		秋山	秋山	秋山	
外 科《梶本徹也》	初診	武田	入村	兼平	石山	北村	初診担当医師は変更する事があります ※は下肢静脈瘤・ヘルニア外来(午後のみ) 木曜日の森川医師は、偶数週の午後2時～4時 診察は午前9時～12時、午後1時～2時半
		谷島	兼平	梶本	梶本	良元	
		入村	道鉢	石山	北村	道鉢	
		石山	良元	柏木	谷島	柏木	
		(交替制)※			森川		
女性専用の外来	梶本						
整形外科《田邊登崇》	初診	田邊	永井		永井	田邊	《初診は完全紹介状制》 水曜は初診のみ(紹介状制) 水曜の初診受付は、午前8時半から午前10時
			坂本		坂本		
土田	加藤	(交替制)	加藤	土田			
脳神経外科《諸岡 暁》	初診		秋山		佐々木		水曜は初診のみ 火曜の諸岡医師、木曜の野田医師は再診のみ
		野田	諸岡	(交替制)	野田	諸岡	
形成外科《平川正彦》	初診	平川	(休診)	三宅	平川	三宅	
泌尿器科《後藤博一》	初診	後藤	鈴木	後藤	鈴木	後藤/大林	診察は午後1時半～3時
		小野寺					
女性専用の外来			本田				
産婦人科《窪田尚弘》	初診	窪田	伊藤	鈴木	小田	矢田	《婦人科初診は完全紹介状制》 ←婦人科再診 ←妊婦健診 ←不妊症外来 診察は午前8時半～9時半 ←婦人科 診察は午後1時半～2時半
		矢田	小田	伊藤	窪田	鈴木	
		小田	矢田	窪田	鈴木	伊藤	
		鈴木	窪田	鈴木	鈴木	窪田	
女性専用の外来		廣中			金山/長橋		
眼 科《藤谷暢子》	初診	藤谷	藤谷	藤谷	藤谷	藤谷	水曜は紹介状初診及び予約のみ
		杉山	杉山		杉山	杉山	
耳鼻咽喉科《重田泰史》	初診	宇野	(交替制)	(交替制)	宇野	(交替制)	金曜は初診のみ
		森本	重田	森本	重田		
皮膚科《津嶋友央》	初診	津嶋	津嶋	津嶋/栗原	津嶋	津嶋	水曜の津嶋医師は奇数週、栗原医師は偶数週
		栗原	栗原		栗原	栗原	
放射線科	初診	成尾	道本/東条	渡嘉敷/大木	松井/福田	成田/渡辺	←診断外来《初診は完全紹介予約制》
歯科口腔外科《勝山直彦》	初診	竹永	竹永	竹永	竹永	竹永	
		勝山	勝山	勝山	勝山	勝山	
		井出	井出	井出	井出	井出	
		近藤	近藤	近藤	近藤	近藤	
		小林/阿部		北/須田			

※都合により、内容が変更になることがあります。

※現在、放射線治療装置(リニアック)更新のため、放射線科の治療外来は休診しております。

※女性専用の外来を担当する女性医師は、赤字で表示しています。

●医師の人事異動について

退任日:平成25年6月30日 就任日:平成25年7月1日

診療科	退任医師名	就任医師名	診療科	退任医師名	就任医師名
小児科	池本 智	玉利 明信	外 科	竹下 賢司	市原 恒平
	小山 友己	道鉢 隆行		原 圭吾	今泉 祐太
外 科	共田 光裕	入村 雄也	整形外科	山元 駿	坂本佳那子
	黒河内 喬範	武田 泰裕		石垣 高志	宇野 匡祐

各科紹介

神経内科

当科は平成15年4月から診療開始し、以降非常勤医師のみの時期もありましたが、平成25年4月あらためて常勤体制となりました。外来は森田、河野、作田医師が担当し、入院病棟は内科や脳神経外科と連携して回診しています。頭から足先まで神経症状は多彩ですが、中でもポピュラーな「しびれ」と「物忘れ」を例に診療のプロセスをご紹介します。

びりびり、ジンジン、正座の後のような、と表現も様々で、手足の震えや動きの悪い状態まで「しびれ」と感じられる方もいらっしゃいます。その原因が脳の指令なのか、脊髄が圧迫されているのか、末梢神経のダメージなのか、と全身を診察して「しびれ」の謎解きをするのが、神経内科医の醍醐味です。背景には生活習慣病、感染症・血管障害・膠原病・癌などの内科疾患、パーキンソン病など神経特有の疾患が潜んでいるのです。必要に応じて「体の反応をみる」脳波、神経伝導検査、針筋電図などの諸検査を駆使して診断に役立てています。一方、「物忘れ」が病気な



のか、自然現象なのかを早期に発見し、治療を始めるのも神経内科の役目です。

当院では高精度MRIの他、富士・富士宮地区で唯一、核医学を用いた脳血流検査も受けることができます。近年、認知症薬が続々と開発されており、個々の症状に合った薬剤を選択することも可能になりました。他のどんな症状にもオーダーメイドで取り組んでまいりますので、何かありましたらどうぞ当科へご相談ください。

所属紹介

～外来Bチーム～

外来はABCDの4つの看護チームで構成されています。

外来Bチームは産婦人科、泌尿器科、女性専用の外来、通院治療室、の4つの看護チームです。外来看護長1名、参事兼副看護長1名、副看護長(助産師)1名、がん化学療法看護認定看護師1名、主任看護師1名、看護師(助産師1名含む)9名、医療補助員7名で構成されています。

産婦人科外来は妊婦さんが無事に出産を迎えられるよう援助しています。

泌尿器科外来は、血尿や頻尿の患者さんが多く受診されるため、患者さんが安心して診察や検査が受けられるよう心を込めて看護を行っています。

女性専用の外来は、外科・泌尿器科・婦人科の3科です。外科は乳腺疾患の方、泌尿器科は尿失禁・排尿障害の方、婦人科は、不妊症・婦人科疾患で悩む方を対象としています。

通院治療室は、外来で化学療法の点滴治療を行っています。快適な環境で安全に治療が行えるよう、副作用への

対処方法や治療の説明を、主に日本看護協会認定看護師が行っています。

今後も、外来診療がスムーズに進むよう、看護師と医療補助員が協力し、対応して参ります。





おしらせ

【女性特有の疾患にお悩みの方へ】

別館2階に女性専用の外来を開設しております。この外来では、外科・泌尿器科・婦人科がそれぞれ女性特有の疾患の診療を行っています。女性専用スペースのため、診察室や待合室でのプ

ライバシーが心配な方も、安心して受診していただけますので、ぜひご利用ください。



●女性専用の外来日程表(赤字は女性医師)

診療科	月	火	水	木	金	(備考)
外科	梶本					診察は午前9時～12時、午後1時～2時半
泌尿器科			本田			診察は午後1時半～3時
婦人科	鈴木	窪田	鈴木	鈴木	窪田	←不妊症外来 診察は午前8時半～9時半
		廣中			金山/長橋	←婦人科 診察は午後1時半～2時半

※婦人科は完全紹介状制になります。

【外来 時間帯予約制】

予約システムは、診察が開始される時間のご予約ではなく、30分ごとの診察枠に対し複数人の患者さんのご予約を承る時間帯予約制となっております。

また、当院は高度で専門的な医療を提供する二次救急病院という役割を担っていることから、

地域の診療所等から救急搬送されてくる患者さんなどに対して、予約外でも診察を優先させていただくことがあり、一般外来患者さんにはご迷惑をおかけする場合がございます。

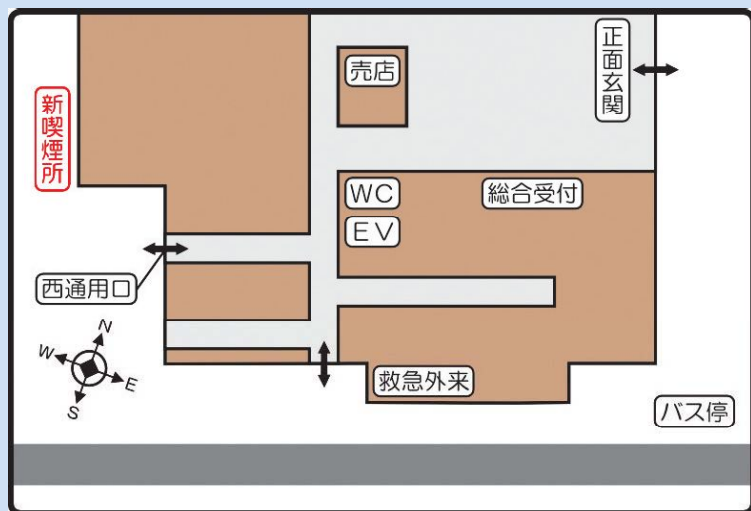
受診時にお困りの点などございましたら、お近くのスタッフにお気軽にご質問ください。

【受動喫煙防止】

受動喫煙防止を目的として、右図のように喫煙所を移設いたしました。

当院敷地内で喫煙される場合は新喫煙所をご利用いただき、受動喫煙防止にご協力をお願いします。

なお、利用時間は午前7時～午後8時となりますのでご了承ください。





総合相談センター～こんな相談を受け付けています～ 内線2046

- 看護相談(がん相談含む)・よろず相談…患者さんとご家族が抱える様々な問題を共に考え、解決していくお手伝いをします。病気や治療のこと、退院後の生活に対する不安など、専任の看護師がご相談に応じます。
 - 医療安全相談…受けた医療に関して疑問や不安があるが、医師に相談しづらい事など、専従のリスクマネージャーがご相談に応じます。
 - 医療福祉相談(健診含む)…患者さんの介護保険の利用、医療費などの心配、退院後の生活の準備、転院先案内など、医療ソーシャルワーカーがご相談に応じます。(医療福祉相談のみ **内線2918**) ※場所は1階正面玄関入って、すぐ右手の地域連携室内です。お気軽にお声をお掛け下さい。
- 受付時間及び相談時間 月曜日～金曜日 8:30～16:00

その他の病院内の相談は…



- お薬相談
月～金 8:30～17:00 相談室(お薬渡し口隣り)
お問い合わせ:薬剤科 **内線2126**
- 栄養相談 ※予約制です。
月～金 栄養相談室(2階循環器科外来隣り)
お問い合わせ:栄養科 **内線2146**
- 検査に関する相談・血糖自己測定器の説明
月～金 8:30～17:00 中央検査相談室(2階)
お問い合わせ:臨床検査科 **内線2267**
- フットケア相談 糖尿病の患者さんの足のケア
第2・第4水・木曜 13:30～15:30 内科外来(2階)
お問い合わせ:内科外来 **内線2285**
- 医療放射線被ばく相談 ※予約制です。
火・木曜日 放射線科外来(1階)
お問い合わせ:中央放射線科 **内線2153**

各種教室のご紹介

患者さんとご家族を対象とした各種教室を開催しています。開催日・講義内容については中央病院にお問い合わせの上、お気軽にご参加ください。開催場所は、各教室いずれも中央病院2階大会議室です。

- 腎臓病教室 お問い合わせ:栄養科 **内線2146**
日時:毎月第3火曜日 15:00～16:00
- ファミリークラス
お問い合わせ:産婦人科外来 **内線2337**
日時:毎月3回 13:00～15:00

出前講座のご紹介

当院職員を学校・会社・町内会の集まり・医療施設等へ派遣します。講座は全部で61メニュー、すべて無料で実施します。ぜひ、ご利用ください。

- 詳細は当院ウェブサイトまで
<http://fujishi.jp/~byoin/>
お問い合わせ:病院経営課 **内線2221**

<富士市立中央病院の理念>

富士市立中央病院は、地域の基幹病院として、市民の皆さまにより良い医療をやさしく安全に提供し、常に医療の向上に努めます。

<富士市立中央病院職員宣言>

- 1 私たちは、患者さまの権利を尊重し、相互信頼に基づく医療に努めます。
- 2 私たちは、知りえた個人のプライバシーは、必ず保護します。
- 3 私たちは、検査・治療・予後などについて、分かりやすい説明に努め、患者さまの意思を尊重します。
- 4 私たちは、患者さまの必要や希望があれば、他の医療機関へ紹介し、必要な情報を提供します。
- 5 私たちは、市立病院としての自覚のもと、絶えず自己研鑽し、コスト意識を持ち、効率的な運営に努めます。
- 6 私たちは、医療機関相互の連携に心して、地域の医療体制への貢献に努めます。

<平成25年度病院指針>

「広げよう連携 磨きあおうサービスの心」

安心して 認定補聴器技能者在籍

快適な「聞こえ」を実現します
お客様本位の接客姿勢と安心の貸出しシステムが自慢です。補聴器のご使用が初めての方でも安心下さい。ご購入後の再調整も承ります。

富士・富士宮の2店舗で対応!!

富士宮店 富士宮市錦町 イオンSC富士宮南館
富士宮補聴器センター 富士宮店
富士宮市錦町2-25
TEL・FAX 0544-27-5629
営業時間 9:00～18:00
第3日曜定休 駐車場あり

夫婦店(富士) 富士市石坂 大塚田診療所
富士宮補聴器センター 夫婦店
富士市石坂85-16
TEL・FAX 0545-53-2365
営業時間 9:00～17:00
日・祝日定休 駐車場あり

富士宮補聴器センター

●●●● 広告募集中 ●●●●

富士市立中央病院「病院だより」第22号(平成25年10月20日発行)について、下記のとおり広告を募集しています。

- ・掲載料 1枠30,000円(消費税及び地方消費税込)
- ・発行部数 約92,000部(市内全世帯及び関係機関へ配布)
- ・募集期間 平成25年7月22日(月)から
平成25年8月30日(金)まで
- ・お問合せ 病院経営課(内線2222)

広告に関する一切の責任は広告主に帰属します。また、富士市が推奨するものではありません。